



# エミールだより

## 6月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

### 「自分の行き先を方向づける三つのテーマ」

時おり、夏を思わせるような日差しが照りつける季節になりましたが、子どもたちもそれに負けずに活発な動きを見せています。

小さな動きで小さな筋肉を、大きな動きで大きな筋肉を成長させながら、自分の思いどおりに身体が動くのを実感しているのでしょうか。身体づくりは自分づくりです。自分づくりが進んでいけば、まわりを見る目も広がってきます。子どもがなぜそんなに力いっぱい生きようとするのか、何となくわかるような気がしますね。

ところで、生まれたばかりの赤ちゃん(ヒト)は、生まれながらに持っているいろいろなテーマを満足させながら、人間として成長していきます。いわゆる「人間の傾向性」と呼ばれているものですが、ここでは特に影響が大きいと思われる三つのテーマを紹介しましょう。

① 子どもは「強い探究心」を持っている。

子どもはほぼ精神的空白の状態で生まれてくるため、その空白を埋めるために積極的にまわりの環境に関わろうとします。あらゆるものに関心を持ち、忙しがしく手を働かせ、他人の真似で動作を身につけます。どんどん空白を埋めることによって、自分という人間を理解する手だてとしているのです。

② 子どもは、「自分が置かれている場所(定位置)をはっきりさせたい」という気持ちを持っている。

自分が今どんな場所(位置)にいるのか、そしてそれが安定して居心地がいいものなのかは、とても大切なことです。なぜなら、その安定した位置を手がかりとして、また新しい環境へと足を向けることができるからです。

③ 子どもは、「環境のなかにある秩序を求め、それを取り入れようとする」。

まわりの秩序とは、生活の仕方であり考え方の基準となるものです。その秩序をはっきりと知ることによって、実行できる能力を身につけ自分の考えも持てるようになります。またこれからの道すじをたどるための、強い手がかりともなります。

子どもの活動は、全て自分づくり(人格形成)のためのものです。どんな人間として成長するかによって、ものごとへの興味・関心の持ち方も異なってきます。それがあいまいなものとなり、「人生の迷路」の入りこみ、「人生の迷子」とならないためにも、ここで挙げた三つのテーマを十分に満足させてやらねばなりません。そうすれば、安心して子どもの後ろ姿を見続けることができるでしょう。(園長より)

### 自然遠足にいきます。



子どもたちが自然に触れ合う目的で小戸公園に自然遠足へでかけます。海辺で砂や波と遊んだり、カニを見つけたり、公園内を散策し楽しい1日をおすごします。

日 程:6月2日(木) 9:30出発 場 所:小戸公園  
乗り物:貸切バス 参加者:光組の以外の全園児



\*くわしいおたよりは5/27に配布しています。  
\*光組は園周辺をお散歩します。

### 6月の行事予定

1	水	
2	木	自然遠足
3	金	個人懇談1・4
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	個人懇談1・4 ↓ 歯科検診
8	水	↓ 歯科検診
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	個人懇談1・4
14	火	
15	水	個人懇談1・4
16	木	のぼら観劇 ふわふわルーム ペアレンツくらす
17	金	個人懇談1・4
18	土	
19	日	父母の会主催 地引網漁
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	避難消火訓練
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	誕生会
28	火	プールびらき
29	水	
30	木	

体育教室 5歳児  
6・13・20・27日 月曜日  
絵画教室 4・5歳児  
9日 木曜日